

大阪府におけるブルーカーボン生態系の 保全・再生・創出と海ごみ対策の推進について

大阪府

An underwater photograph showing a seabed covered in brown and yellow seaweed. Several small, dark fish are swimming in the blue water above. The scene is slightly hazy, suggesting an underwater environment.

大阪府における ブルーカーボン生態系の保全・再生・創出と 海ごみ対策の推進について



大阪湾MOBAリンク構想

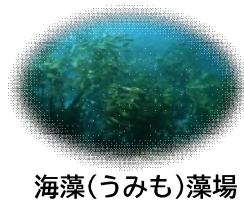


大阪湾MOBAリンク構想

大阪湾におけるブルーカーボン生態系(藻場・干潟)のミッシングリンクとなっている湾奥部における創出や、湾南部や西部における保全・再生を大阪・関西万博を契機として、民間企業や地域団体等と連携して加速化することにより、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系の回廊(コリドー)でつなぐ構想



海草(うみくさ)藻場



海藻(うみも)藻場

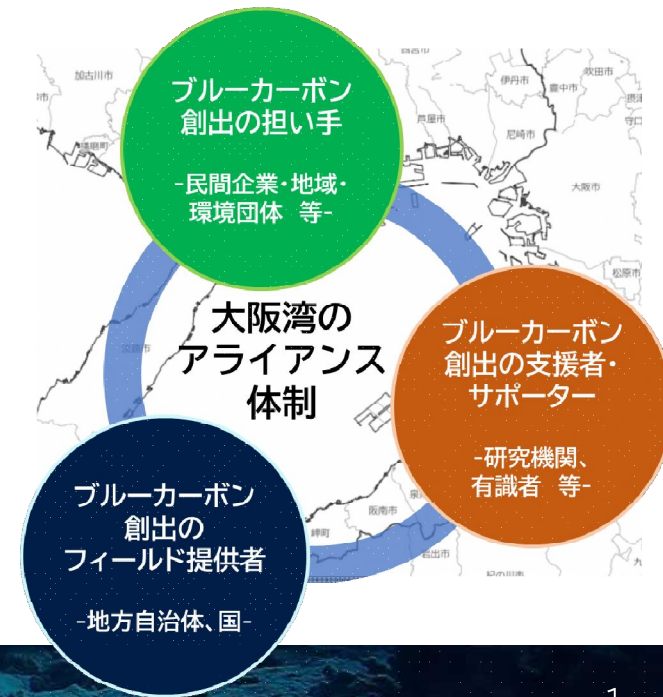


干潟

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA)

構想に賛同する企業、団体、行政機関等が連携して、大阪湾におけるブルーカーボン生態系の保全・再生・創出を推進するため、兵庫県とともに「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)」*を設立

*Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance



大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)(令和6年1月設置)

情報発信・普及啓発・理解促進 の一元的な展開

- 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA) の名称での統一的な発信
- 顕彰制度(例: 全国海の再生・ブルーインフラ賞)の奨励
- 大阪・関西万博の民間パビリオン等での情報発信 等

ブルーカーボン生態系の創出等 の取組活性化

- 藻場の再生・創出を行う事業者等の希望に応じて意見交換を実施し、既存の取組みを拡充

等

会員同士のマッチング による「新たな」創出等

- アライアンス会員同士が連携し、新規の藻場再生・創出プロジェクトを企画・立案

等

藻場創出等が 生物多様性等へ及ぼす効果把握

- 藻場の再生・創出が生物多様性や水質改善等を与える効果を確認

等

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA) (2024年7月24日現在・63団体)

(民間事業者)		(団体等)
Canopy Blue Japan	東亜建設工業株式会社	大阪府漁業協同組合連合会
三洋テクノマリン株式会社	株式会社日立製作所	一般社団法人スマートな島ぐらし推進協議会
株式会社ダイフク	株式会社朝日テック	一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア
広和株式会社	株式会社メディアクト	兵庫県漁業協同組合連合会
株式会社フィッシングマックス	住友電気工業株式会社	特定非営利活動法人大阪海さくら
日鉄神鋼建材株式会社	株式会社渋谷潜水工業	特定非営利活動法人海プラスSOU
オールサム有限会社	富士通株式会社	貝殻利用研究会
株式会社 東京久栄	JOHNAN株式会社	一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ
株式会社 シャトー海洋調査	株式会社 中山製鋼所	農林中央金庫
マルワズ貿易株式会社	日立造船株式会社	一般社団法人 須磨里海の会
ト部産業株式会社	大建工業株式会社	一般社団法人マリンハビタット壱岐
トーカロ株式会社		ジャパンプルーエコノミー推進研究会(BERG)
三井住友海上火災保険株式会社		ブルーカーボン促進のための栄養塩供給管理プロジェクト
日本リーフ株式会社		大阪湾広域臨海環境整備センター
関西エアポート株式会社		大阪から明るい水産業を創る会
横河電機株式会社		(教育・研究機関等)
レンゴー株式会社		AQUARIUM×ART átoa
深田サルベージ建設株式会社		学校法人大阪ECO動物海洋専門学校
青木あすなろ建設株式会社		大阪公立大学海洋環境学研究室
日本興業株式会社		(行政関係)
日本製鉄株式会社		環境省近畿地方環境事務所
ENEOS株式会社堺製油所		兵庫県 明石市
岡部株式会社		大阪府 泉大津市
株式会社神戸製鋼所		大阪府 阪南市
沖電気工業株式会社		大阪府 岸和田市
株式会社イノカ		大阪府 高石市
共英製鋼株式会社		(オブザーバー)
海洋土木株式会社		公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

※各分類においては登録順で掲載しています。

(1) 万博会場周辺海域におけるブルーカーボン生態系の創出

- 万博開催に向けて会場周辺海域にブルーカーボン生態系を創出して**大阪湾における取組を国内外に発信**。民間事業者等による藻場創出の取組みの公募を実施し、4件の事業を採択。

藻場創出補助事業（公募期間：6月6日(木)から7月12日（金）まで）

- 創出実績のある万博会場周辺海域の人工護岸において藻場の創出に取り組む民間事業者を公募し、その費用の一部を補助する事業を実施。
- 藻場の創出状況は水中ドローン等を活用しモニタリングを実施。

公募条件等

- 補助対象者：民間事業者等
- 補助対象：藻場の創出に要する費用
1事業者あたり300㎡の藻場創出
- 補助額：補助率1/2（上限額：500万円）
- 補助件数：5件程度

採択結果（8月6日(火)公表）

- 採択事業件数 4件（藻場創出目標面積は合計1,020㎡）



<公募に関するHP>

<事業のスケジュール>



(2) 大阪湾奥部ブルーカーボン生態系創出支援事業

- ・大阪湾の湾奥部における藻場再生・創出の効果的な創出手法を調査して公表し、民間事業者等の藻場創出の取組みを促進。

①藻場創出の適地調査

- ・湾奥部の傾斜型護岸で、環境調査等を実施し、藻場創出の適地を明らかにする。

2024年5月下旬：全5地点で調査

2025年3月頃：調査結果をとりまとめて公表予定

②簡易な藻場創出手法の効果検証

- ・湾奥部における、藻場創出の簡易手法の適用可能性を検証。

2024年5月29日:関西空港島から堺第7-3区へワカメ等の母藻を移植

2025年3月頃：効果検証

大阪・関西万博を機に民間企業等による藻場創出を促進

藻場創出に向けた調査地点



(3) 大阪湾における取組の情報発信コンテンツ作成

- ・大阪湾における藻場創出の理解や民間企業の参入の促進のために、情報発信用のプロモーション素材を作成し、大阪・関西万博等の機会を捉えた情報発信を実施。

【海藻藻場及び生物の状況の撮影】

水中ドローンや空中ドローン等を活用して、海中の映像を撮影
(6月：関空島周辺海域、7月：長松海岸、1月：南港野鳥園)

<コンテンツ>

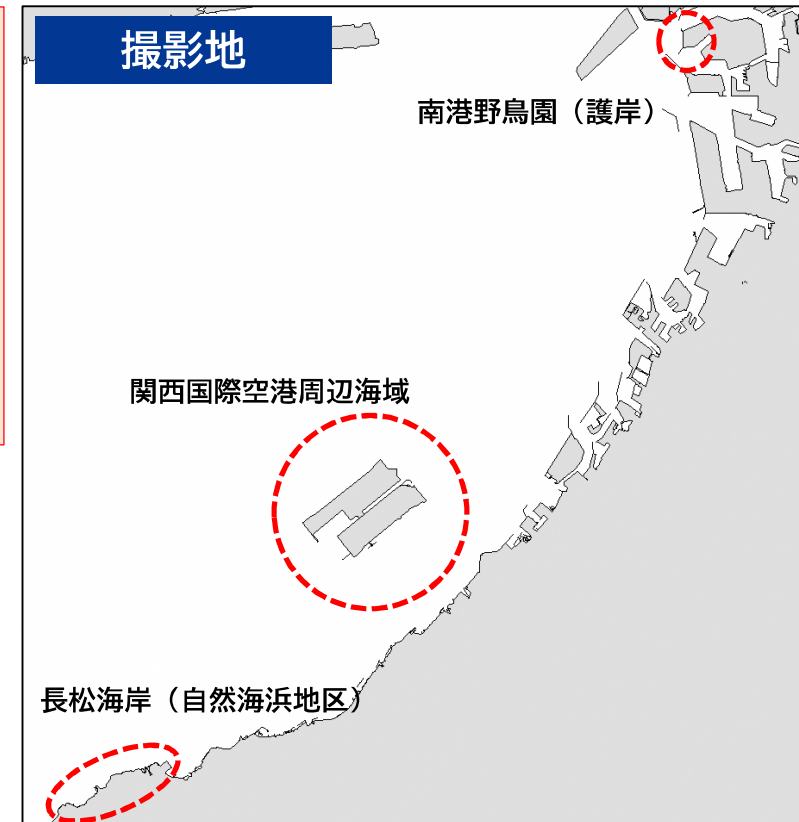
- ・大阪湾における民間や行政等の藻場創出の取組み
- ・大阪湾MOBAリンク構想
- ・大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA) の取組み 等

大阪・関西万博等での情報発信により
藻場創出への理解や民間企業等の参入を促進

水中ドローンの例



VRコンテンツのイメージ



OSAKAごみゼロプロジェクト

1. 現状・課題

大阪湾の浮遊ごみの約9割がペットボトルや容器類等の生活系のプラスチックごみであり、ポイ捨てやごみ箱からの飛散等により街中に散乱したごみが、川を通じて海に流入し、海洋汚染を引き起こすとともに、景観を損ねている。



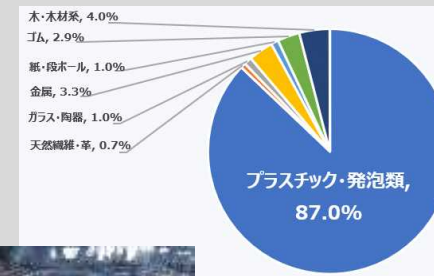
街



川



海



大阪湾における浮遊ごみ調査結果(ごみの内訳割合・個数ベース)

※令和4年度大阪府実施 大阪湾・堺泉北港で8・10・2月に回収した浮遊ごみの平均値)

2. 目的

大阪・関西万博(2025年)や全国豊かな海づくり大会(2026年)の開催に向け、**街・川・海にごみのないきれいな大阪の実現**をめざし、府内全域で地域、企業、団体、市町村等と連携して取組内容の発信も行い、**オール大阪でのごみ削減**や機運醸成を図る。

(参考)「おおさか海ごみゼロプラン(計画期間:2021~2030年度)」計画目標
2030年度に大阪湾に流入するプラスチックごみの量を半減する

3. 取組み・方向性

○ 実施期間

- ・ 2024年度から2026年度まで

○ 取組方針

- ・ 既存取組(企業・団体、行政等)を**強化・拡大**(関係者への働きかけを強化し参加者増)
- ・ 相乗効果の発揮につなげるため、諸取組みを**連携・連動、パッケージ化・見える化**
- ・ 取組みを通じて、「**海ごみゼロ**」の機運醸成を図り、今後につなげる

取組項目

発生源側



環境側

(1) 使い捨てプラスチックなどの**使用を抑制**

(2) ごみの街・川・海への**流出・飛散を防止**

(3) 街・川・海での**ごみ拾い**の連携・促進

(4) 川・海での**ごみ回収事業**の推進

(5) ごみゼロに向けた
啓発・教育を推進

大阪府の主な取組み

▶ 清掃活動(愛称:ごみゼロアクション)の活性化

- 参加者数倍増をめざし、市町村や企業等に協力を呼びかけ
(府が旗振り役となり、統一的な啓発グッズを作成・配布し一体感を創出する など)
- 取組状況の見える化
(清掃活動の実施状況を取りまとめてHP等で成果を広く発信)
- アドプト団体による活動(ロード、リバー、シーサイド)、山地美化キャンペーン等の継続実施・情報共有



○ ごみの街・川・海への流出・飛散の防止

▶ トラックからのポイ捨てごみ対策

啓発看板の設置、運送事業者によるドライバーへのごみ持ち帰りの指導等を支援

▶ 釣りにおけるごみ持ち帰り徹底の啓発

日本釣振興会等との連携による看板設置等の啓発

▶ テイクアウト飲料用カップの散乱防止対策

コンビニ等におけるインバウンド向け周知啓発の実施検討



啓発看板の設置状況

○ 川・海でのごみ回収の事業の推進

▶ 港湾や大阪市内河川における船舶の安全航行を目的とする清掃

船による清掃が難しい範囲の清掃方法の検討
万博期間中の清掃頻度の増加の検討

▶ 漁業者による海ごみ回収支援



○ 使い捨てプラスチックなどの使用を抑制

▶ ごみを出さないライフスタイル・ビジネススタイルの促進 プラスチックの代替品への転換促進

おおさか3Rキャンペーンによる普及啓発、
Osakaほかさんマップによるマイボトル等の利用促進など

▶ シェアリング・リユースの促進

リユース食器・リユースカップの取組み強化

▶ 府庁の率先行動



○ ごみゼロに向けた啓発・教育の推進

▶ 環境イベント等における啓発

ため池オアシス・クリーンアップ・キャンペーンや環境イベント(ロハスフェスタ等)などの様々な機会を活用した啓発

▶ 環境教育の実施

環境教育冊子や啓発用動画を活用した
学校内外での環境教育の推進

